

酸セベラマーの順に少なく、同等の効果を得るためには炭酸カルシウムの1.5倍以上の塩酸セベラマーが必要になるようです。従って、

食事に対する配慮はやはり必要です。

(栗原 怜/慶寿会)

さいたま つきの森クリニック・医師)

## インスリン治療

Q2

現在インスリンを使用していますが、透析を開始して2時間から3時間後にしばしば低血糖症状が起こり、そのつど50%ブドウ糖液を注入してもらっています。朝食はその日の調子で食べたり食べなかったりで、透析中は食事を取りません。現在、透析開始時の血糖は120～150mg/dlで、コントロールは良好とされています。

A2

文面からだけでは、どのような種類のインスリンをどのくらい使用されているのかわかりません。しかし、透析開始2～3時間後に低血糖症状が頻繁に出るのであれば、朝のインスリン量が多過ぎる可能性がありますので減量する必要があるかと思えます。

インスリン使用中の透析患者さんに対しては通常、透析開始前と終了時の血糖を測定してインスリン使用量の目安とします。透析液の糖濃度はおよそ100mg/dlに調整されていますので、極端な低血糖症状はみられません。朝食の摂取量が十分でなかった場合など

には、インスリンが効きすぎて低血糖症状が起こりやすくなります。

透析前の血糖が低めの場合には、透析中の適当な時間に糖分を経口摂取することも必要です。特に、透析中は昼食を取らず、透析が終了してから昼食を取る方の場合には、低血糖症状が起こりやすいので注意が必要です。場合によっては、透析日と非透析日のインスリン使用量を変える必要があるかもしれません。

(栗原 怜/慶寿会)

さいたま つきの森クリニック・医師)